

第1章

TOEIC® Bridge

その概要

Printing of this document are strictly prohibited.

TOEIC® Bridgeとは何か

TOEIC Bridgeは「TOEICへの掛け橋」という意味を込めて、基礎的な英語コミュニケーション能力を測定する世界共通のテストとして開発されました。TOEICプログラムを開発した世界最大のテスト開発公共機関ETS (Educational Testing Service) の傘下にある、The Chauncey Group Internationalが制作にあたっています。TOEICは企業・団体・大学などへ幅広く浸透していますが、大学・高校・中学校などの教育機関や学生・一般の英語学習者からの要望に応え、TOEICよりも「易しくて」「日常的で身近な」「時間の短い」初級学習者向けのテストとして開発されたものです。TOEIC Bridgeは、スコア表示による評価方法、信頼性の高いモノサシ機能など、TOEICの特長を備えつつ、初・中級レベルの英語能力測定に照準を合わせて設計されたテストです。

■ TOEIC®テストとは

TOEICとはTest of English for International Communicationの略称で、英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通のテストである。アジア、ヨーロッパをはじめ世界約60カ国で実施され、2001年の世界の受験者数は約290万人に上っている。日本国内では128万人(2001年度)に達し、これまでの累積受験者数は900万人、3,500の企業・団体・学校で採用されている。

TOEICはETSの高度なテスト開発技術に基づいた信頼性・妥当性の高い客観テストとして設計され、最大の特徴は、能力評価が10から990までのトータルスコアとリスニング、リーディングのセクションスコア(それぞれ5から495まで)で示されること、その評価基準が毎回のテストによって変化することなく常に一定していることにある。この優れた特長によりTOEICは分野を問わず、さまざまなレベルの受験者の英語力を正確に位置付けることができる。企業では、新入社員のレベルチェック、英語研修事前・事後の効果測定、海外出張・駐在基準、昇進・昇格基準など、大学・短大では学生の就職支援・単位認定・推薦入試など、多彩なニーズに応じた活用が幅広く行われている。

TOEIC Bridgeの特長のひとつは、合否を問うテストではなく、TOEIC同様、英語によるコミュニケーション能力の評価を数値で示すプロフィシエンシーテスト(Proficiency Test)である点です。スケールが常に一定に保たれており、英語能力の進捗度を時系列的に比較する尺度としての機能を備えていますので、TOEICと同じく、テストとしての高い評価を得ています。

TOEIC Bridgeのそのほかの特長として、サブ・スコアによる評価方法が挙げられます。これは5分野のカテゴリーについて3段階で評価を行うもので、初・中級英語学習者の英語によるコミュニケーション能力の向上をサポートしたいというコンセプトの下に、モチベーションアップと継続学習につながるような結果をフィードバックします。TOEICを受験しながらも、まだ十分な能力を示すことのできない方が意欲を失うことなく学習を続けるための指針として利用することができます。

TOEIC® Bridgeの特長

TOEIC Bridgeの特長は次の通りです。

- 1 初級・中級レベルの英語コミュニケーション能力を評価する世界共通のテスト
- 2 結果は合格・不合格ではなく、リスニング、リーディング(各10～90点)とトータルスコア(20～180点)、および5分野3段階のサブ・スコアで評価
- 3 テスト時間と問題数をTOEICの半分に設計(1時間・100問、リスニング25分間・50問、リーディング35分間・50問)
- 4 TOEICよりも日常的で身近なコミュニケーション場面や素材をテスト問題に採用
- 5 リスニングセクションの出題スピードはTOEICより遅く、ネイティブスピーカー(英語を母国語とする人)が「注意深く」話す際のスピードと同じ

TOEIC® Bridgeの受験者

TOEIC Bridgeは次のような方々に適しています。

- 高校生・中学生
- 大学生・短大生・専門学校生
- 一般の方

(TOEIC運営委員会では、TOEICスコア450点に達している方には、TOEICの受験をお勧めしています)

TOEIC Bridgeは英語のコミュニケーション能力を高めていく学習初期段階の方に、次のようにご利用いただけます。

- 基礎英語力のレベルチェック
- 英語学習の目標設定
- TOEIC受験への準備として
- 英語能力向上のモチベーションづくり

■ ETSとは

ETSはTOEICの開発をはじめ、TOEFL(アメリカ・カナダに留学する人のための語学試験)、SAT(全米大学入学共通試験)、GRE(大学院入学共通試験)、GMAT(経営大学院入学試験)、各種国家試験、職業適性テストなど、米国での公的試験の大半を制作している世界最大のテスト開発公共機関である。さらに教育分野における調査や研究など、幅広い活動を行っている組織である。TOEICプログラムの制作および世界における実施・運営は、1996年からCGIが担当している。日本におけるTOEICとTOEIC Bridgeの実施・運営は、財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会TOEIC運営委員会が当たっている。

■ TOEIC® BridgeとTOEIC®

テストの受験ガイドライン
TOEIC Bridgeの開発にあたってCGIからは、テストの構成や測定範囲が異なるため、両テストの明確な相関関係は発表されていない。

CGIはTOEIC Bridgeの開発プロセスにおいて限定的なサンプルを対象に行った比較調査の分析結果を踏まえ、TOEIC Bridgeスコア160点に達した場合、さらに高度なレベルまで測定できるTOEICの受験を勧めている。なお、TOEIC Bridgeのスコアに関わりなく、TOEICはいつでも受験できる。

日本独自のガイドラインとして示しているTOEIC Bridgeの受験目安TOEICスコア450点とTOEIC Bridgeスコア160点とのスコアに相関関係はない。

▼TOEIC® BridgeとTOEIC®テストの比較

	TOEIC® Bridge	TOEIC®テスト		
テスト コンセプト	英語によるコミュニケーション能力を測定する世界共通のテスト			
受験対象者	目安TOEICスコア450点以下 ●高校生、中学生 ●大学生、短大生、専門学校生 ●一般の方	性別、年齢、職業を問わない		
測定範囲	初級から中級レベル	初級英語学習者からネイティブスピーカー (英語を母国語とする人)に近いレベルまで		
出題内容	日常的で身近な内容	身近な内容からビジネスまで幅広く		
テスト形式	マークシートによる一斉客観テスト			
評価 スケール	リスニングスコア	10-90	リスニングスコア	5-495
	リーディングスコア	10-90	リーディングスコア	5-495
	トータルスコア	20-180	トータルスコア	10-990
	スコアは2点刻み		スコアは5点刻み	
サブ・スコア (5分野3段階評価)				
テスト構成 / 時間	リスニング	50問 25分間	リスニング	100問 45分間
	リーディング	50問 35分間	リーディング	100問 75分間
	トータル	100問 60分間	トータル	200問 120分間
結果	Official Score Certificate (公式認定証)			
結果発送予定日	試験日から45日以内	試験日から30日以内		
公開テスト の受験料	4,200 円 (消費税5%を含む)	6,615 円 (消費税5%を含む)		

▼サブ・スコア評価内容一覧

TOEIC Bridgeでは、Listening Score, Reading Score, Total Scoreの他に下記の5つのカテゴリごとに1~3の評価が提示されます。各カテゴリの数値が高いほど他の受験者に比べて評価が高いことを意味します。

カテゴリ	内 容
Functions (言葉のはたらき)	どのような目的と意図 (例: 何かの申し出・要求・時間を伝える・指示・情報収集など) で英語が使用されているのかを理解できる。
Listening Strategies (聞く技術)	英語を聞いて、必要な情報を聞き取る、話の要旨をつかむ、内容を推測する、アクセント・発音・時制等を正しく聞き分けることができる。
Reading Strategies (読む技術)	英語を読んで、必要な情報を読み取る、ざっと読んで意味をつかむ、話の要旨を見極める、内容を推測する、文章内の構造が理解できる。
Vocabulary (語彙)	日常生活、嗜好、趣味、娯楽、旅行、健康、簡単な商取引などに関する単語や語句、及び文脈における意味が把握できる。
Grammar (文法)	文法を理解し、用法も把握している。

■TOEIC® Bridgeで出題される題材

TOEIC Bridgeの問題で題材とされるものには次のようなものがあります。

▼いろいろな活動

趣味・スポーツ・日常の活動・自由時間の活動

▼外での食事

昼食・夕食・レストラン・予約

▼娯楽

映画・劇・音楽・美術展・博物館・スポーツ・ゲーム

▼家族と友人

家族・友人との活動・招待・ペット

▼一般的業務

販売・会議・研修・請求書・金銭取り扱い・面会・広告

▼一般の事項

感情・好悪・世間話・一般的儀礼

▼健康

医師・歯科医・診療所・病院・一般的な健康問題と健康管理

▼住居

アパート・住宅・農場・購入と賃貸・修理

▼オフィス

手紙・メモ・電話・ファクス・Eメール・オフィス機器・事務手続き・雑談

▼報道

気象情報・報道番組・新聞

▼学校

授業・教室・学科・教師・学生・図書・宿題

▼買い物

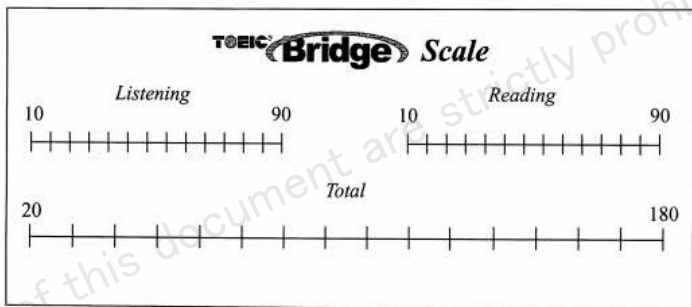
食料雑貨品・衣類・購入

▼旅行


道案内・列車・航空機・タクシー・バス・船・フェリー・切符・発着時刻表・駅や空港のアナウンス・レンタカー・ホテル・予約

TOEIC® Bridgeスコアの算出法

TOEIC Bridgeでは、テストの難易度によってスコアのブレが生じないように調整する統計手法であるequating（スコアの同一化）という処理を行っています。この方法を採用することによって、TOEIC Bridgeでは受験者の英語能力に変化がないかぎり、スコアが一定に保たれるようになっています。スコアは1問何点という採点方法を採らず、正答数を基に、Scaled Scoresとして表示されます。



▼ TOEIC® Bridge Official Score Certificateのサンプル



OFFICIAL SCORE CERTIFICATE


REGISTRATION NUMBER (登録番号) NAME (氏名) DATE OF BIRTH (生年月日)

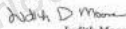
0000008-8 KOKUSAI TARO 1985/03/10

The 1st Administration - November 4, 2001

SCALED SCORES		
SECTION I (LISTENING)	SECTION II (READING)	TOTAL
52	60	112

特別法人 国際ビジネスコミュニケーション
TOEIC運営委員会
東京 千代田区永田町 2-14
 山王グランドビル



The Chaucery Group
 International
 President

Judith Moore

The Chaucery Group International is a subsidiary of Educational Testing Service, Princeton, N.J., U.S.A.
 THE CHAUCERY GROUP and its design logo are registered trademarks of The Chaucery Group International, Ltd.
 EDUCATIONAL TESTING SERVICE, ETS, and its logo, as well as TOEIC and the TOEIC scale mark, are registered trademarks of Educational Testing Service.

キリトリ線

TOEIC Bridge のサブ・スコアについて

TOEIC Bridgeでは「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」に加え、英語学習に役立つ情報として下記のサブ・スコアを設けました。サブ・スコアは、5分野の評価項目ごとに、それぞれの分野でどの程度できたかを1～3段階により評価します。数値が高いほど評価の高いことを示します。詳しくは、添付の「スコアの読み方」をご参照ください。なお、スコア提出の際には、キリトリ線で切り離して「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」の表示のあるシート部分をご利用ください。

Functions	Listening Strategies	Reading Strategies	Vocabulary	Grammar
2	1	2	3	1

TOEIC® Bridge受験準備

TOEIC Bridgeは基礎的な国際コミュニケーション英語能力を評価するテストです。特定の語学教材や教科書の内容をテストしようとするものではありません。言葉の運用能力の向上には時間が必要で、学習と練習が欠かせません。

ここにあるのは、TOEIC Bridgeを受験する前にどのような準備をすればいいかについてのアドバイスです。

■事前準備



TOEIC® Bridgeの各パートの設問形式に慣れる

▽本書第1章の「サンプル問題」、第2章・第3章の2つの練習問題に解答することで、TOEIC Bridgeの各パートの出題形式に慣れるようにしてください。

▽リスニングの問題

- ・写真描写問題 15問
- ・応答問題 20問
- ・会話問題 15問

▽リーディングの問題

- ・文法・語彙問題 30問
- ・読解問題 20問

■テストで用いられる事柄

- 地理に関する事柄 (国の位置・国の名前・国の首都など)
- 歴史上の事実
- 休日の名称と日付
- 著名人の名前
- 学科や業務で用いられる特定の語句 (科学で用いられる特別の用語・いろいろな道具の名称など)
- 計算
- 各種の重量単位や測定値
- 文学と芸術

▽TOEIC Bridgeはマークシートによる100問の一斉客観テストです。全体は、2つのセクション (リスニングとリーディング) からなり、各セクションにはいくつかのパートがあります。試験時間は60分間です。

▽Section I Listeningが最初に行われます。このセクションではパートが3つあり、全部で50問あります。

受験者は会場で放送される音声聞いて、問題に答えます。音声聞くことができるのは1回だけです。このセクションの解答時間は25分間です。

▽Section II Readingは後半に行われます。このセクションではパートが2つあり、全部で50問あります。

このセクションでは音声放送されることはありません。印刷された問題を読んで設問に答えます。したがって、受験者はテスト時間に注意して解答する必要があります。解答時間は35分間です。

▽各パートの冒頭にある指示 (Directions) をよく読んで設問形式を把握してください。

▽左に掲げたテストで用いられる事柄の一覧に目を通しておいてください。これらの事柄がテストで用いられることがありますが、それぞれに関する知識がテストされるわけではありません。

Tip 2 解答用紙に慣れる

▼解答用紙の見本は64ページに綴じ込まれていますので、参照してください。

▼TOEIC Bridgeでは、解答はすべて解答用紙に記入しなければなりません。本書に記載されている練習問題に解答するときは64ページに綴じ込みの解答用紙を使用してください。

▼解答用紙には受験者名のほか必要な項目を記入しなければなりません。氏名の記入方法に慣れ、テスト当日余裕を持てるように心掛けましょう(綴じ込みの解答用紙は実際のものとは異なります)。

Tip 3 テスト中に注意すること

▼解答は解答用紙に記入して、問題用紙に記入しないでください。

▼解答は、手際よく、そして注意深くするようにしましょう。

▼ひとつの問題に時間をかけすぎないようにしましょう。

▼Section Iのリスニングでは、もし時間に余裕があれば、音声を聞く前に、Section IIのリーディングでは、問題文を読む前に、それぞれ設問文を読んでおくといいでしょう。解答に必要な情報に焦点を絞って聞いたり、読んだりするのに役立ちます。

▼正答を得るために、出てくるすべての語句の意味を知っている必要があるとは限りません。とくにPart IIIの会話問題とPart Vの読解問題についてはこのことが言えます。すべての語句を理解することに気を取られることなく、設問に対する答えを見出すことに集中するといいいでしょう。

▼複数の選択肢が正答と思えることがあります。このような場合には選択肢全部を十分考慮してから、正答を選ぶようにしましょう。

▼各問に正答はひとつしかありません。各問に対してひとつの選択肢をマークしてください。

▼すべての問題に解答するようにしましょう。TOEIC Bridgeは減点方式ではありません。最も適切と思われる選択肢を選ぶようにしましょう。解答用紙に未解答の部分を残すよりも、推測でも解答をしておいたほうがいいのです。

TOEIC® Bridgeの受験申し込み方法と
受験に関する情報の入手先

財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会

TOEIC運営委員会 TOEIC Bridge事務局

東京業務センター 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-14-2
山王グランドビル

Tel.: 03-5521-6007 Fax: 03-5521-5887

大阪業務センター 〒541-0059 大阪市中央区博労町3-6-1
御堂筋エスジービル

Tel.: 06-6120-0584

業務センターの受付時間 平日10時-17時（土・日・祝日を除く）
公式ホームページ <http://www.toEIC.or.jp>